

収穫！料理！そしてアート！ ～玉ねぎづくしの2日間～

- 1 趣 旨：親子で様々な体験活動にチャレンジする機会を提供し、親子の絆を深めるとともに、保護者間のコミュニティの構築を図る
- 2 日 時：①2019年5月4日（土）～5日（日）
②2019年5月5日（日）～6日（月）
- 3 場 所：国立淡路青少年交流の家
- 4 対 象：各日程 子どもとその保護者 25組、70名程度
- 5 参加者：①20家族78名（保護者40名、子ども38名）
②19家族69名（保護者33名、子ども36名）

親子ちゃれんじ
収穫！料理！そしてアート！
～玉ねぎづくしの2日間～

①5月4日（土）→5日（日）
②5月5日（日）→6日（月・祝）

①②どちらかの日程
をお選びください

スケジュール

1日目	12:30	受付
	13:00	玉ねぎ収穫
	15:00	野外クッキング
	20:00	ファミリータイム
	21:00	就寝
2日目	9:00	玉ねぎ採り体験
	10:30	まじめ
	11:00	解散

場 所：国立淡路青少年交流の家
定 員：25組 70名程度
集 合 場 所：
利 用 料：小学生以下子どもとその保護者
参加費：大人 2160円
子ども（小学生） 1916円
子ども（中学生） 1796円
中学生（18歳以下） 1960円
申込方法：メールまたはFAXから

国立淡路青少年交流の家
〒415-0645 静岡県淡路市淡路1-1-1
TEL:0543-22-1111 FAX:0543-22-1112
E-MAIL: info@nissai.or.jp

6 プログラムの内容： ～玉ねぎ収穫体験・試食～

今回ご協力いただいた、玉ねぎ農家の阿部雅一さんの玉ねぎ畑に移動し、玉ねぎに関してのクイズや、玉ねぎ収穫のポイントについて説明をしていただき、収穫体験をおこなった。ふかふかの畑の土に長靴で入り喜んだり、一面に広がる玉ねぎに驚いたり、子ども達の豊かな表情が見られた。

子ども達の顔の大きさと変わらないくらい大きい玉ねぎに「なかなか引っこ抜けへん」「めっちゃ玉ねぎ重たい！」と言いながら、親子で玉ねぎを引きあう姿もみられた。

収穫の後、阿部さんの倉庫をお借りし、採れたての玉ねぎを試食した。スライスしたての玉ねぎなので辛味もあったが、甘みもしっかり感じられ、参加者からは「辛い！」「生やのに甘い！」など、様々な声が聞かれた。



～野外クッキング“BBQと玉ねぎ料理”～

今回の野外クッキングは、鉄板を使ったBBQと、玉ねぎを使った「玉ねぎの丸焼き」「玉ねぎスープ」に挑戦した。「玉ねぎの丸焼き」は、素材の良さを味わってもらうため、味付けをせず、玉ねぎをそのままアルミホイルに包み、炎の中に入れる料理であった。参加者は、玉ねぎそのものの甘みに驚きながら、美味しそうにほおばっていた。「玉ねぎスープ」もコンソメのみの味付けという、シンプルな料理であったが、玉ねぎから出た旨みもあり、何度もおかわりをする姿が見られた。

家族の中で、火をおこす係、野菜を切る係、片付けをする係、食事の準備係など役割をつくり、保護者も子どもも一緒になってクッキングを楽しんでいた。参加者からは、「初めて洗い物をしてくれた」「野菜を食べない子だったのに、今日はおかわりまでしてくれた」と子どもの成長を喜ぶ声が聞かれた。



～ファミリータイム（選択プログラム：ウミホタル観察・紙芝居・自由時間）～

野外クッキングの後は、家族ごとに自由に過ごしてもらった。選択プログラムとしてウミホタル観察や紙芝居も用意していたが、体調や疲れ具合に合わせて、談話室や宿泊室でゆっくりする家族も見られた。ウミホタル観察では、たくさんのウミホタルを捕獲することはできなかったが、神秘的に光るウミホタルに歓声が上がった。紙芝居では、ボランティアによるしっとりとした読み聞かせに、就寝前の活動としてピッタリであったという声が聞かれた。

～玉ねぎ染め体験～

阿万地区自治会女性部の協力のもと、玉ねぎの皮を使った「玉ねぎ染め」を体験した。輪ゴムやひもを使い、模様をつけ、玉ねぎの皮を使い染色し、ミョウバンで媒染をした。初めての作業に戸惑いながらも、次第にスムーズに作業を進めることができていた。

出来上がったハンカチは、どれも美しい色に染まった。縛ったり結んだりした模様も美しく表現され、参加者は、世界に一つだけの作品に満足した様子であった。



7 参加者の声

- 子どもにたくさんのことを体験させることができた。有意義な時間を過ごすことができた。
- 「THE・淡路」という内容で良かった。玉ねぎも思った以上にたくさん収穫でき、満足した。
- 収穫が楽しかったし、自分たちで収穫した玉ねぎを料理できたことがよかった。
- 玉ねぎ染めが楽しかった。作ったハンカチを大切にしたい。
- 農作業や食事を作る苦労を、家族で共有できてよかった。

8 所感

今年度初の親子ちゃれんじは、募集開始と共に多数の申込があった。日程を2回に分けていたことにより、多くの方に参加していただくことができた。淡路島内はもちろんのこと、島外からも関西圏を中心に多くの申込があった。島内の参加者からは「前から親子ちゃれんじに興味があった」「毎回楽しみにしている」などの声をいただき、この事業が、地域に根付き、広く周知されていることを感じた。

アンケートには「普段体験できないことができた」「子どもにたくさんのことを体験させることができた」「いろんな友だちがいて、さらに友達が増えてよかった」という意見があり、「親子で様々な体験活動にチャレンジする機会を提供する」「保護者間のコミュニティの構築を図る」という事業のねらいはある程度達成できた。また、玉ねぎ農家の阿部雅一さん、阿万地区自治会女性部のみなさんという、地域の方の協力を得られたことにより、淡路島の魅力を多くの方に伝えられたと感じた。